

「春日部ふれあい歴史塾」と私

会員 三嶋良夫 (春日部市)

「春日部ふれあい歴史塾」は平成9年に1年制の「かすかべ老人大学院」(現=かすかべふれあい大学院)修了者の中の歴史に興味のある有志が、“このまま有意義な勉強を終わらせてしまうのは誠に悪い、何とか続けられないか”と協議の結果、設立され運営されてきた独自の塾で今年21年を迎えます(現在の会員数は63名です)。この歴史塾に参加しています。

半年間は歴史講座で月2回講師を迎えて講義を聞き、あとは「歴史散策の旅」や「会員各グループの発表会」などを行う集まりです。

岩槻の慈恩寺の玄奘塔に祀られている、玄奘三蔵法師の遺骨について調べ始めて、玄奘塔の設立の経緯や、南京における高森部隊による遺骨発見の様子に興味を深まり、分骨先の、奈良の薬師寺の玄奘院や台湾の日月潭の玄奘院、上海、北京、西安や敦煌まで出かけました、その結果、上海に数ヶ所、北京に2ヶ所、南京にも何か所か分骨されている、日本にも何か所か、祀られている、その他では、周恩来の努力でインドにも分骨されて玄奘院が建立されており、とても小生の追いかける範囲を超えてしまい、とくに南京は日本人の人気がなくツアーも少なく出かけられずにいますので取りあえず調べただけを発表しました。

その後は、越谷市の祭りや「虫送り」の行事、越谷の下間久里の「香取社」から伝授された、野田市のパツバカ獅子舞、春日部市の赤沼地区・銚子口地区・東中野地区の「獅子舞」など現地の祭りを追いかけて調べました。

2014年に「室町から安土・桃山時代」のグループに所属して、足利尊氏兄弟により創立された「安国寺」を調べて発表。2015年は「ピータードラッカー夫妻」の所蔵する室町時代の水墨画が、ドラッカー没後10年を記念して、久しぶりに日本で展覧されたのを紹介しました。

2016年は2014年の関連で「安国寺恵瓊」を調べに、広島市の「不動院」(旧安国寺)広島市中央図書館、厳島神社の「大経堂」(通称・千畳敷)、京都では「建仁寺」で大方丈や、恵瓊の首塚などを見て、「東福寺」にも出かけ、あとは図書館などの資料を参考に発表した。今年は室町時代から変わり始めた兜とつばを調べたいと思っています。

本来「野次馬」で、なににでも興味を持ち、首尾一貫しませんが、調べた中でも現地で印象に残ったことを幾つかを述べます。西の方にはあるがこの地方には珍しい、岩槻の「両墓制」。近年は塾長の先導により、2泊3日の日程で、奈良へ2回、今年は京都(八坂神社周辺)と比叡山、大津市(三井寺。日吉社。近江神宮)を回りました。現地で納得したものがいくつかあります。

西安の大慈恩寺の玄奘供養塔

敦煌に残る、唐時代の外壁

厳島の「千畳敷」や建仁寺の「恵瓊の首塚」

蘇我入鹿の墓と飛鳥寺と甘樫の岡の位置

奈良の「頭塔」の不思議な構造

大津市役所裏の弘文天皇陵

などいろいろです。

お知らせ 受付が土曜と日曜のみになります

◎友の会では、これまで毎月の土曜・日曜と国民の祝日の午前と午後、博物館ロビーにあるカウンター内で担当者が会員の皆さまや新規入会希望の方への対応を行ってきましたが、事情により、今年11月から土曜と日曜の午前10時～午後4時までになります。祝日は対応いたしませんので、ご了承ください。

今後のイベントスケジュール * 申込は『JUNO』に応募要項が掲載されてからお願いします。

ホームページ:<http://junosaitama.net/> ブログ:<http://hakutomobulog.at.webry.info/>

- 10月26日(木) 友の会見学会『浅間縄文ミュージアムと自然史博物館』 <前号で紹介>
- 11月5日(日) お祭りクラブ「時代まつり」(埼玉県嵐山町) <前号で紹介>
- 11月8日(水) プレミアム講座 特別展「上杉家の名刀と三十五腰」関連 <今号で紹介>
- 11月17日(金) まちあるき研究会(行田市) <今号で紹介>
- 11月19日(日) 講演会「武蔵国分寺の造営と北武蔵」 <今号で紹介>
- 11月25日(土) 古道探索倶楽部(赤山街道 越谷道その3) <今号で紹介>

クラブ活動 今後の予定(参加者募集)

◆第21回鎌倉街道を訪ねて 赤山街道 越谷道 3◆

11月25日(土)に「古道探索倶楽部」の街道歩き

- ◀主催▶埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会「古道探索倶楽部」
- ◀日時▶11月25日(土) 9時30分～15時30分(予定)
- ◀集合▶東武スカイツリーライン越谷駅改札口周辺
- ◀行程▶越谷駅→越ヶ谷御殿跡→越ヶ谷観音堂→新町八幡神社→照蓮院→大相模不動尊大聖寺→西方日枝神社→東方久伊豆神社→八坂神社→延命寺→吉川駅
- ◀費用▶資料代等300円
- ◀その他▶歩行距離は約7kmで、史跡巡りをいれると8km少々です。歩きやすい服装・靴でご参加ください。昼食は、レイクタウン内フードコートを予定しています。温かい物購入出来ます。保険に加入しております。体調が悪くなった方は、倶楽部員まで連絡してください。
- ◀申込▶11月17日(金)までに、普通ハガキに氏名・住所・会員番号・電話番号(ご自宅・携帯とも)を明記して〒339-0058さいたま市岩槻区本丸3-8-1 7犬走東道あて
- ◀問合せ▶前日まで犬走(いぬばしり)電話 048-756-5634 当日は 小俣(おまた)携帯 090-3436-9017

◆日本遺産(足袋文化)のまち「行田」を歩く◆

11月17日(金) 「まち歩き研究会」の活動です

- ◀主催▶埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会「まち歩き研究会」
- ◀日時▶平成29年(2017)11月17日(金) 10時～15時頃 小雨の場合決行(前日正午に決定)
- ◀集合▶午前9時30分 JR高崎線・熊谷駅改札前(または午前10時10分 秩父鉄道・行田市駅前)
*熊谷から9時57分発の秩父鉄道に乗車します。
- ◀行程▶行田市駅→行田市郷土博物館→水城公園(昼食休憩)→天満社・高源寺→古墳通り→足袋蔵ギャラリー→中央通り→行田市駅(解散) 徒歩約3.5時間。
- ◀内容▶今年4月、「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち」で埼玉県初の日本遺産に認定された行田市。市内には、日本遺産の構成文化財が39件もあり、いたるところに風情ある足袋倉やなつかしい建物が立ち並んでいます。忍城博物館から出発して、市内をゆっくり歩きます。ゼリーフライや奈良漬などの食文化も堪能しましょう!
- ◀その他▶交通費(各自)、資料代300円(他に博物館が200円)。お弁当も各自ご用意ください。
- ◀申込・問合せ▶①FAX: 048-470-2758 ②Eメール(筑井): pu8n-tki@asahi-net.or.jp
③「ホームページ」の「申込フォーム」より送信フォームで。

上杉家の名刀と三十五腰

～謙信・景勝の名刀、埼玉に集う！～

11/3 から開催の特別展は、上杉謙信・景勝が特にこだわりをもった刀剣を中心に、武将のこころを窺い知るヒントを現代の私達に見せてくれます。刀剣の美しさや来歴が、武将間の人間関係や歴史を読み解く手がかりにもなります。県内初公開の品も展示室でご覧になれる機会に、プレミアムな解説をどうぞ！

講師の関口さんは、日本中世史がご専門、一昨年には特別展「戦国図鑑」を担当され、当講座で「武将のこころ」のお話を伺いました。今回の特別展も担当され、日本の中世・戦国の一面を刀剣に焦点を当てて分かり易く表現していただけることを期待します。

講師 関口 真規子 氏 当館主任学芸員

とき 11月 8日(水) 午後1時半～2時半

ところ 当館講堂

ご参加無料

申込方法: 他のイベントとの混乱が生じやすいため、下記の点にご注意ください。

通常ハガキ(62円に料金改定済)に、開催日、イベント名・住所・氏名・電話番号・会員番号を明記。

締切: 10月31日までに、下記の宛先へ必着でお願いします。

〒330-0803さいたま市大宮区高鼻町4-219埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

返信はいたしません。お申込みいただければ、ご参加いただけます。会員限定ですが、ご家族、お友達
はご参加いただけます。

武蔵国分寺の造営と北武蔵

—古代日本の国家プロジェクト—

仏教を中心とする国家構想の核心だった国分僧寺と国分尼寺。近年の考古学による成果から堂塔の配置が統一的なものではなく、地域情勢との関係の中で建設されたことがわかった。建立にいたる政治状況を辿り、諸国国分寺の特徴を明らかにしたいと思います。

講師 須田 勉 先生

(元国士舘大学教授)

**日時 平成29年11月19日(日)午後1時30分
～3時**

場所 当館講堂 (東武アーバンパークライン(野田線)大宮公園駅下車徒歩5分)

参加費 300円

当日は返信ハガキをお持ち下さい。

ご参加のお申込みは、**往復ハガキ** に イベント名・住所・氏名・電話番号・会員の方は
会員番号 を明記、返信面に住所・氏名を記入

〒330-0803さいたま市大宮区高鼻町4-219埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。

締切:11月15日(水)。 定員(150名)を超えた場合はお断りすることもあります。

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会